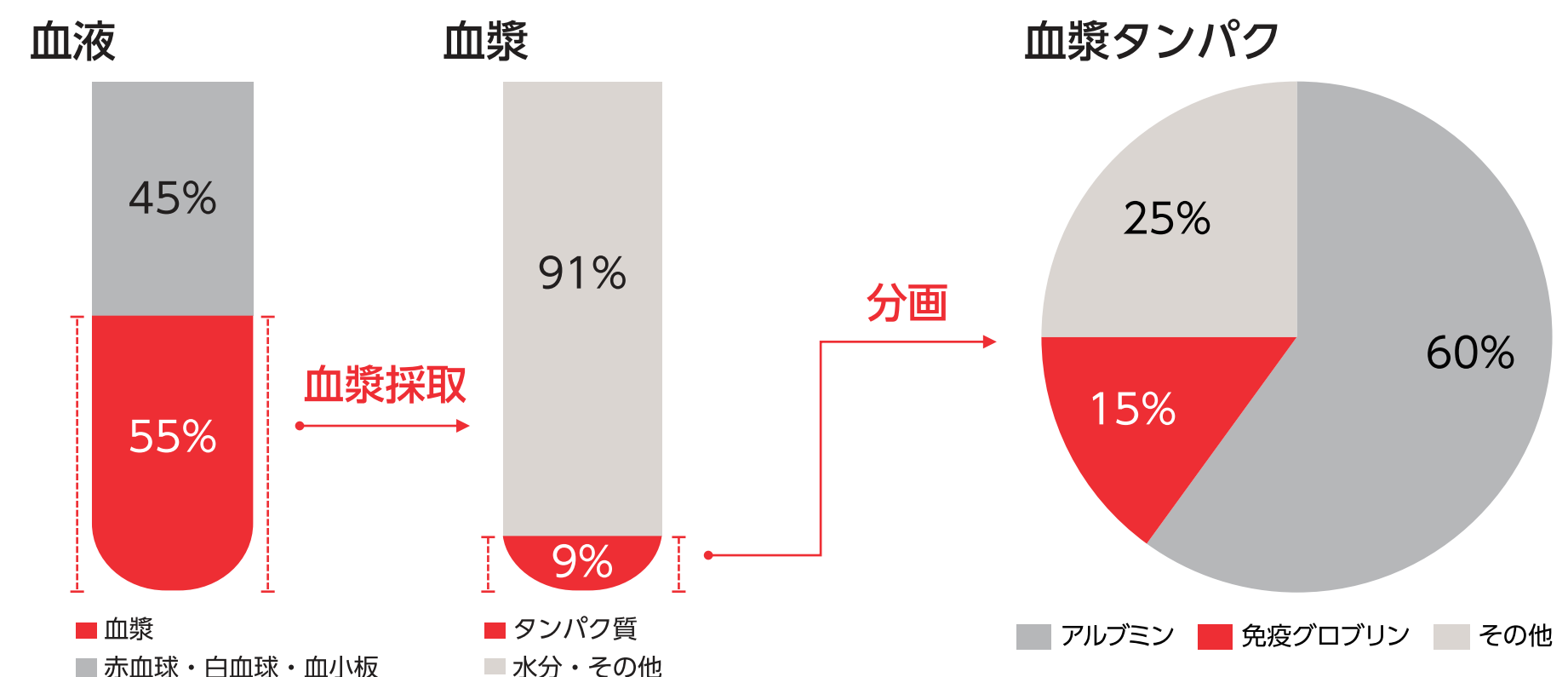
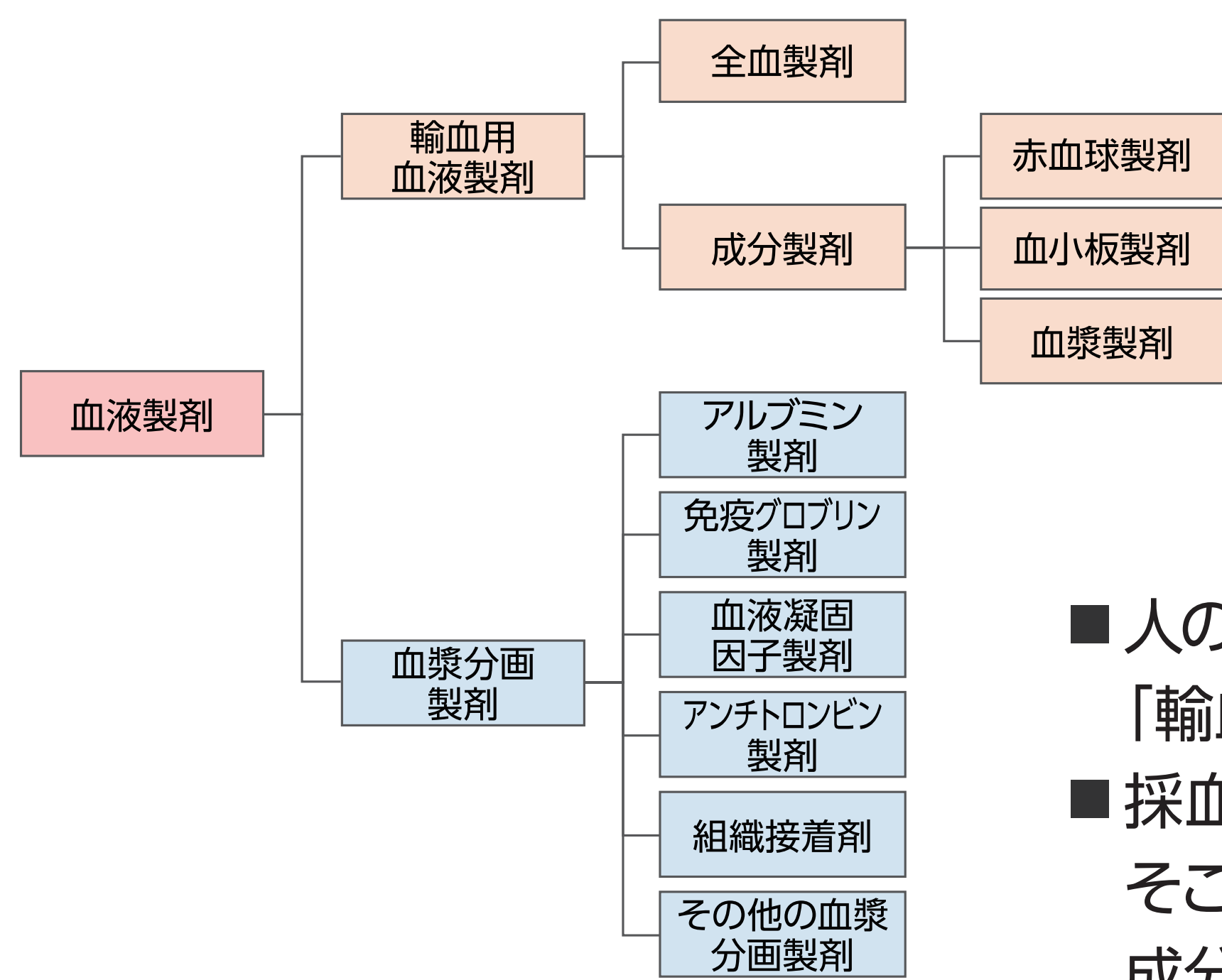


血漿分画製剤ってなに？

血漿分画製剤とはどのような薬でしょうか？

「輸血用血液製剤」と「血漿分画製剤」¹⁾

貴重な血漿分画製剤^{1) 2)}



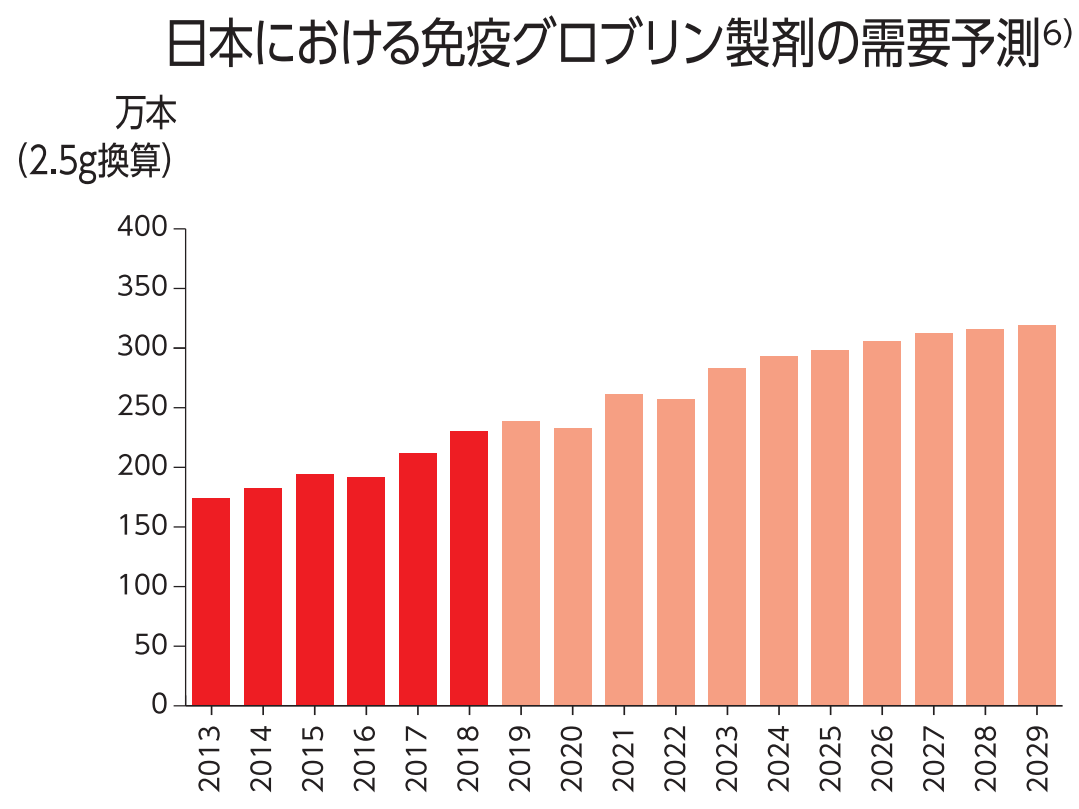
- 人の血液から作り出される薬(血液製剤)は、「輸血用血液製剤」と「血漿分画製剤」に分類されます。
- 採血した血液から得られる血漿成分(55%)をプールし、そこから治療に有益な血漿タンパク質を取り出し(9%)、成分ごとに高純度に精製されたものを「血漿分画製剤」とよびます。
- 血漿分画製剤には、タンパク質の成分によって様々な種類が存在します。

血漿分画製剤はどのような病気の治療に使われるのでしょうか？³⁾

	アルブミン製剤	免疫グロブリン製剤	血液凝固因子製剤
作用	血液中の水分などを血管内に保持し、種々の物質を運搬する	ウイルスなどの病原体の感染予防や、免疫機能の調整	出血したときに、血液を固めて止血する
対象疾患	出血・外傷によるショック 重症の熱傷 高度なタンパク質の低下による重篤な病状など	無又は低ガンマグロブリン血症 川崎病 特発性血小板減少性紫斑病 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチー 天疱瘡、多発性筋炎 Rh抗原感作の予防 など	血友病 手術時の傷口の接着・閉鎖 など

血漿分画製剤のひとつである免疫グロブリン製剤の需要が増加

希少疾患の診断技術の向上、標準治療の向上、治療へのアクセス拡大により、免疫グロブリン製剤の需要が世界中で大きく増加しており、その傾向は今後も続いていくと予想されています。日本においても、免疫グロブリン製剤の需要が増加傾向にあることが分かります。



出典 1) 厚生労働省令和5年度血液事業報告 (一部改変)
2) Laub R, Baurin S, Timmerman D, Branckaert T, Strengers P. Specific protein content of pools of plasma for fractionation from different sources: impact of frequency of donations. Vox Sang. 2010;99(3):220-231. doi:10.1111/j.1423-0410.2010.01345.x
3) 日本血液製剤協会「血液製剤について」「血液分画製剤のいろいろ」<http://www.ketsukyo.or.jp/> (一部改変)
4) Patrick, Robert: Plasma-Derived Medicinal Products (PDMPs) and Plasma Supply into the Future,

European Blood Alliance and International Plasma and Fractionation Association (EBA-IPFA) Amsterdam, the Netherlands 14-15 January 2020. The Market Research Bureau (MRB). Available from: https://ipfa.nl/wp-content/uploads/2019/08/1_5_ROBERT-Robert_IPFA-EBA_January14_Dispatch.pptx-FINAL-READY-FOR-PUBLICATION.pdf
5) PPTA. Summer 2018 (numbers 1986-2016); MRB Marburg Forecast of plasma fractionation capacities 2018 to 2030, 2019 (numbers 2018-2030).
6) 薬事審議会血液事業部会令和6年度第1回運営委員会

RDD2025のすべてのパネルは左の二次元コードからご覧いただけます。

資料コード JPN-OTH-0311